

令和8年8月 発行

460-0007

名古屋市中区新栄一丁目2番31号
フロンティア新栄2階

TEL (052) 259-7550

FAX (052) 259-7560

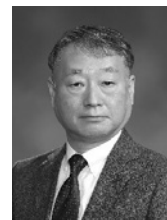
E-mail refec@js4.so-net.ne.jp

Research Foundation for the Electrotechnology of Chubu

公益財団法人 中部電気利用基礎研究振興財団



☆ 時の流れ



理事長

野田 英智

私の身近に一つの書があります。ご存じの方もおられると思いますが、電力の鬼と言われた松永安左エ門の直筆の書です。これには非常に印象的なセンテンスが書かれています。

「科学の進歩は累積と推理に由り、無限の発達を遂げる性質のもので尽きる処を知りません。」
更にこれに続き、

「乍併（しかしながら）、利己的な人間性は社会的に猶ほ一千年前の哲人に比し何等の進境を示して居りません。研究調査に關與（かんよ）する人々は能く（よく）之を知り内面的な人間性の錬磨を併せ続けられん事を祈って止まない次第であります（す）。」

この書は昭和44年、約56年前に書かれたものでありますが、特に二番目のセンテンスは、人間の本性たるや1000年経ってもさほど進化していないが、研究者には、そもそも人間がもっている本性を高度にコントロールする、より高い倫理観が必要＝科学・技術を扱うものの倫理観の有り方、という観点で非常に示唆に富んでいます。

さて、松永翁の言う、研究者の持つべき倫理観というものは当然大切ですが、一番目のセンテンスにある、「科学の進歩は・・・無限に発達を遂げる性質・・・」という未来に向かう時間軸、二番目のセンテンスにある「・・・一千年前の哲人に比し・・・」という脈々と代が続く人間の生きる時間軸、即ち、科学・技術の進歩の時間軸と人（もしくは人間の本性）の進歩の時間軸とは、大きく違うということでしょうか。

また、面白いことに、科学・技術の発展だけを振り返ってみても、その進化の速度、すなわち「時の流れ」方は技術ごとに大きく異なることに気づきます。私たちは同じ社会の中で、数十年単位で進化する技術と、数か月単位で姿を変える技術の双方に囲まれて暮らしています。

例えば電力インフラは、極めて長い時定数を持つ技術です。発電所や変電所、送電線は数十年にわたり運用されることを前提に設計されています。高度経済成長期に建設された設備が、適切な保守や更新を経て今なお社会を支えている例も少なくありません。同様に、上下水道、ダム、高速道路、鉄道なども数十年先を見据えて整備されています。そこでは変化の速さよりも、安全性や信頼性、そして社会的な継続性が重視されます。

一方、自動車産業を見ても時間の流れは変化しています。かつて自動車の進化はエンジン性能や機械技術の改善、安全性の向上等が中心でありましたが、現在ではソフトウェア更新によって機能が向上する時代となってきました。車両自体は10年以上使用される一方、車内のデジタル機能は数か月単位で進化します。この一台の車の中にも、異なる時間軸の技術が共存しています。

さらに通信やITの世界では時間の流れは一層速いです。固定電話は社会インフラの側面も大きく、その普及には数十年を要しましたが、スマートフォンはわずか十数年で普及しました。クラウドサービスは日々機能が更新され、生成AIに至っては数か月で常識が塗り替えられるほどの変化を続けています。企業のIT化は、かつては数年単位の計画で進められていましたが、今ではDX化の名の下、継続的な改善を前提とする取り組みへと変わりつつあります。

このような多様な技術の時間軸をつないでいるものの一つに「電気」があります。私たちは照明を点け、スマートフォンを充電し、クラウドやAIを利用します。しかし、その当たり前の行為の裏側では、発電設備や送配電ネットワークが24時間365日休むことなく稼働しています。近年急増するデータセンターやAIの計算処理も、膨大な電力によって支えられている側面があります。

別の観点で、技術発展を振り返れば、人類の技術発展は「電気をどう使うか」⇔電気利用の歴史でもあったような気がします。照明は夜を活動の時間へと変え、モーターは産業の生産性を飛躍的に高めました。家電製品は生活を豊かにし、コンピュータは情報処理を革新しました。そして今、再生可能エネルギーや蓄電池、AI等が新たな社会の姿を描こうとしているように見えます。

このように見れば、技術の進歩とは、単に速く変化することではありません。長い時間をかけて育まれた技術的信頼性の上に、新しい価値を創造することであると考えます。長い時定数を持つ社会基盤（を支える技術）と、短い時定数を持つデジタル技術、この二つの時間軸を調和させながら未来を築くことこそ、これからの研究者、技術者に求められる使命と言えるかも知れません。

ただし、冒頭のとおり、その大前提として高い倫理観が求められることは、決して忘れてはいけないことだと思います。

◇ 令和7年度研究助成金贈呈式・助成研究発表会を開催

— 21名の研究助成対象者に贈呈 —



野田理事長・加藤選考委員長を囲んでの記念撮影

令和8年3月6日ホテルメルパルクNAGOYAにおいて、令和7年度研究助成金贈呈式ならびに助成研究発表会を開催し、令和7年度の研究助成金受領者に対して助成金の贈呈を行うとともに、過去に当財団から研究助成金を受領された研究者の方に対象研究の成果を発表していただきました。

会場には財団役員、選考委員、助成金受領者の皆さま方等合わせて39名の出席をいただきました。

贈呈式では、冒頭、野田理事長から挨拶と加藤選考委員長から審査経過報告を行いました。

続いて、助成金受領者全員のお名前をご紹介します、A1研究助成金受領者を代表して鈴鹿工業高等専門学校電気電子工学科准教授西村高志氏に、A2研究助成金受領者を代表して岐阜大学工学部化学・生命工学科助教水野翔太氏に、A3研究助成金受領者の近畿大学理工学部電気電子通信工学科准教授南政孝氏に、野田理事長から贈呈書を授与いたしました。これを受け、南政孝氏から研究助成に対する謝意を込めた挨拶がありました。

贈呈式終了後、過去の研究助成金受領者3名の皆さまによる助成研究発表会を開催し、発表後には参加者からの質問も多くいただき、盛況の中終了いたしました。

令和7年度助成研究発表会の発表者およびテーマは次のとおりです。

(敬称略、所属・役職は発表会当日時点)

- | | |
|-------------|---|
| (1) 安川 直樹 氏 | 名古屋工業大学大学院 工学研究科 工学専攻 助教
「グリーンケミストリーを指向した
革新的ホウ素ラジカル調製法と精密有機合成反応への応用」 |
| (2) 本田 杏奈 氏 | 名古屋大学 未来材料・システム研究所 特任助教
「不純物 (C、Mg) 添加したGaNにおける点欠陥解明と
評価手法の確立」 |
| (3) 渡部 弘達 氏 | 立命館大学 理工学部 機械工学科 准教授
「ダイレクトカーボン燃料電池のオペランド観察と電極設計」 |

◎助成額は

令和7年度 総額39,867千円贈呈 ー令和8年度は総額4,000万円を予定ー

令和7年度の事業につきましては滞りなく終了し、4月から令和8年度の公募をスタートしております。

当財団の助成による研究成果がエネルギー問題や電気の効率的な利用等の一助となり、今後社会での活用や生活基盤の向上につながることを願い、助成予定額4,000万円を予定しております。

ご応募される皆さまは、本年度の助成応募要領(当財団ホームページ掲載)をお読みいただき、応募くださるようお願いいたします。

◇令和7年度(実績)

助成項目		応募件数	助成件数	助成額 (円)	募集締切日	決定時期
研究助成	A1 (100万円)	16	4	3,440千	9月17日	2026年2月
	A2 (200万円)	36	16	26,560千		
	A3 (300万円)	7	1	2,430千		
	小 計	59	21	32,430千		
国際交流	前 期	31	20	2,734千	5月21日	2025年6月
	後 期	14	12	1,730千	10月22日	2025年12月
	小 計	45	32	4,464千	-	-
出版助成	前 期	9	8	736千	8月6日	2025年8月
	後 期	15	7	697千	12月10日	2026年1月
	小 計	24	15	1,433千	-	-
開 催 助 成		15	11	1,540千	8月6日	2025年8月
合 計		143	79	39,867千	-	-

*詳細は次ページ以降をご覧ください。

◇令和8年度(応募)

助成項目		助成予定 件数	1件当たり 上限(円)	助成予定額 (円)	募集締切日	決定時期
研究助成	A1 (100万円)	8～13	100万	3,200万	9月16日	2027年2月 中旬
	A2 (200万円)	10～15	200万			
	A3 (300万円)	1～2	300万			
国際交流	前 期	採択件数 による	渡航: 渡航先による リモート: 登録料(実費) 招聘: 10万	500万	募集終了	決 定 済
	後 期		10月21日		2026年12月上旬	
出版助成	前 期		12万	150万	募集終了	2026年9月上旬
	後 期				12月9日	2027年1月上旬
開 催 助 成				20万	150万	募集終了

*応募要件等の詳細は令和8(2026)年度助成応募要領をご覧ください。(財団ホームページに掲載)

*財団ホームページ <http://www.refec.org>

◇ 令和7年度 研究助成一覧 (21件 : 32,430千円)

(敬称略、所属・役職は申込時点)

申請者氏名 所属・役職	研究題目(研究期間)	贈呈額 (千円)
キム ダソム 名古屋大学大学院工学研究科 材料デザイン工学専攻 特任助教	高強度・高導電性を両立したレーザ粉末床溶融結合法 Cu-Cr-Zr合金の微細組織設計と熱処理プロセス最適 化(1年間)	860
鍼野 哲 東京科学大学理学院化学系 助教	有機二次電池電極活物質の創出を指向した安定ラジカ ル群の開発(1年間)	860
西村 高志 鈴鹿工業高等専門学校 電気電子工学科 准教授	静電応力を利用した材料成長プロセスの開拓とタングス テン単原子ナノプローブ製作への応用(1年間)	860
川口 昂彦 静岡大学工学部電子物質科学科 准教授	半導体デバイスの直接成長による3次元集積化を可能 とする新規酸窒化物の開発(1年間)	860
田中 健太 岡山大学異分野基礎科学研究所 助教	電気化学測定を基盤とする有機光触媒の開発と光触媒 反応への応用(2年間)	1,660
岡崎 竜二 東京理科大学 創域理工学部先端物理学科 准教授	高配向テクスチャード多結晶を用いた横型熱電変換の 実証(1年間)	1,660
山田 強 富山大学学術研究部薬学・和漢系 准教授	ホスフィン資源の再生と効率的な活用～ホスフィンオキ シドの電解還元を基軸としたホスフィン触媒的分子変換 法の開発～(2年間)	1,660
清水 雅裕 信州大学工学部物質化学科 准教授	配位環境制御に立脚した新規プロトン二次電池の開発 (2年間)	1,660
神永 健一 東北大学大学院工学研究科 応用化学専攻 助教	傾斜組成ナノ制御による高性能・脱コバルト正極の創製 と性能向上機構の解明(2年間)	1,660
氏原 嘉洋 名古屋工業大学大学院工学研究科 工学専攻 准教授	電気刺激による心筋組織の構造を維持した長期培養技 術の確立(2年間)	1,660
PHAM Van Thanh 静岡大学工学部 数理システム工学科 助教	光再構成可能なインテリジェントサーフェスを用いた可 視光通信のエネルギー効率及び物理層セキュリティの 高度化(2年間)	1,660
太田 健吾 阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 准教授	電力制約のある学校環境下で動作可能な教育DXアシ スタント基盤のための音声言語エッジAI基盤(2年間)	1,660
野田 堅太郎 富山県立大学情報工学部 知能ロボット工学科 准教授	マイクロ化学量センサのための複数波長光による高透 過率材料中の光音響波モデルの解明(2年間)	1,660

申請者氏名 所属・役職	研究題目（研究期間）	贈呈額 （千円）
市川 俊輔 三重大学教育学部 理科教育講座 准教授	未利用なセルロース系原料からのバイオガス発電を可能にする細菌の開発（2年間）	1,660
加藤 邦彦 岐阜大学工学部 化学・生命工学科 助教	自律循環エネルギーハイブリッドシステムによる持続可能な水質浄化技術（1年間）	1,660
山田 駿介 九州工業大学大学院工学研究院 電気電子工学研究系 助教	天然由来材料を用いた疎水性電解質の合成とその生分解性Znイオン電池への応用（2年間）	1,660
北折 暁 東京大学 先端科学技術研究センター 助教	熱電変換を見据えた第三の磁性体「オルタマグネット」開発（2年間）	1,660
水野 翔太 岐阜大学工学部 化学・生命工学科 助教	電子機能材料としての応用を目指した蛍光性新規イオン液体の開発（2年間）	1,660
田代 陽介 静岡大学工学部 化学バイオ工学科 准教授	磁性膜小胞を用いた電磁気センシングによる血中循環がん細胞リアルタイム検出技術の創出（2年間）	1,660
村松 大陸 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授	ハイブリッド結合方式による体内埋込医療機器への情報/電力同時伝送システムの開発（2年間）	1,660
南 政孝 近畿大学理工学部 電気電子通信工学科 准教授	高周波駆動における半導体デバイスの劣化を模擬したモータ駆動システムの長寿命化に関する研究（1年間）	2,430

◇ 令和7年度 国際交流援助一覧 (32件 : 4,464千円)

【海外渡航費援助】

(敬称略、所属・役職は申込時点)

申請者氏名 所属・役職	渡航目的 (会議名・論文題名)	渡航時期 渡航先	贈呈額 (千円)
稲川 昌樹 東京理科大学大学院 創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 修士課程2年	The 24th International Conference on Composite Materials (ICCM24) 「NUMERICAL ANALYSIS OF MACROVOID FORMATION PROCESS IN A SINGLE LAYERED WOVEN FIBRE BUNDLE CONFINED BETWEEN PARALLEL PLATES」	2025/8/2 -8/9 アメリカ	160
岡村 直哉 岡山大学大学院 環境生命自然科学研究科 環境生命自然科学専攻 修士課程1年	Energy Conversion Congress and Exposition (ECCE) 2025 「Practical Measurement Method for Parasitic Inductance in Wiring Networks of Multichip Power Modules」	2025/10/17 -10/25 アメリカ	160
窪田 愛斗 名古屋大学 大学院工学研究科 電気工学専攻 博士前期課程2年	31st International Symposium on Discharge and Electrical Insulation in Vacuum (ISDEIV 2025) 「Penetrating Destruction of Solid Insulator in Vacuum Induced by Local Negative Charging and Electric Field Distortion under High AC Voltage Application」	2025/9/20 -9/27 中国	65
石津 岳 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 博士前期課程2年	European Materials Research Society 「Growth of III/V co-doped Ge crystals for high concentration n-type doping」	2025/9/15 -9/18 ポーランド	200
三宅 航成 名古屋工業大学大学院 工学研究科工学専攻 博士後期課程1年	Pacificchem 2025 -The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025- 「Enantioselective synthesis of chiral phosphine-containing β -amino-acid derivatives using cinchona alkaloid amide catalysts」	2025/12/14 -12/22 アメリカ	100
中島 実 京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻 修士課程1年	香港交通学会 (HKSTS) 「Utilizing multi-day truck trajectory data to analyze the potential of replacing diesel」	2025/12/7 -12/9 中国	65
山田 拓実 豊田工業高等専門学校 電子機械工学専攻 専攻科2年	第51回 マイクロ・ナノ工学国際会議 「Development of a uniform cell dispersion structure in microfluidic channels with low cell loss」	2025/9/13 -9/27 イギリス	200
WANG PENG 名古屋工業大学大学院 工学研究科工学専攻 博士後期課程2年	The 76th Annual Meeting of the International Society of Electrochemistry 「Effects of Organic Additives on Microstructures and Electrochemical Performance of Nanoporous TiO ₂ -TiO-TiN Composite Films Formed in Nitric-Based Aqueous Electrolytes」	2025/9/7 -9/12 ドイツ	56
邢 林莘 東北大学大学院工学研究科 応用化学専攻 博士課程2年	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacificchem 2025) 「Enhanced superconductivity in mixed-anion Nb(O,N) epitaxial films via nano-gradient compositional engineering」	2025/12/14 -12/21 アメリカ	38

申請者氏名 所属・役職	渡航目的（会議名・論文題名）	渡航時期 渡航先	贈呈額 （千円）
伊藤 駿汰 名古屋大学大学院 工学研究科電気工学専攻 博士後期課程1年	17th European Conference on Applied Superconductivity 「Non-stoichiometry in BMO-doped REBCO coated conductors for enhanced performance in low-temperature magnetic fields」	2025/9/21 -9/25 ポルトガル	200
劉 子濠 新潟大学大学院 自然科学研究科 環境科学専攻 修士課程2年	5th European Conference on Unsaturated Soils 「Investigation of the Strength Characteristics of Various Bentonites under Different Temperature and Saturation Conditions」	2025/8/30 -9/4 ポルトガル	200
仲野 太智 東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 修士課程1年	2025 IECON - 51st Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society 「Resistance Estimation of Current-Limiting Fuse for Active Control of Pyrofuse in DC Circuit Interrupter」	2025/10/13 -10/19 スペイン	200
尾崎 孝太朗 名古屋大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 博士前期課程2年	248th Electrochemical Society Meeting (ECS Meeting) 「Formation of Si-Nanosheet from Si _{0.7} Ge _{0.3} /Si/Si _{0.7} Ge _{0.3} Stacked Layers By CF ₄ /H ₂ Plasma」	2025/10/12 -10/16 アメリカ	160
園原 優 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 博士前期課程2年	14th International Conference on Renewable Energy Research and Applications (ICRERA 2025) 「Output Power Characteristics of Three-Phase Star-Delta Connected Isolated Secondary-Resonant Single-Active-Bridge DC-DC Converter and its Range of Application」	2025/10/26 -11/1 オーストリア	200
松本 優多 東京電機大学 大学院工学研究科 物質工学専攻 修士課程2年	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (Pacifichem 2025) 「Benzoimidazole Based NHC-Coordinated Cyclometalated Palladium Complex Catalyzed Rapid Hydroxymethylation of Arylboronates」	2025/12/14 -12/21 アメリカ	100
JEON Jihun 京都大学大学院工学研究科 高分子化学専攻 博士後期課程3年	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2025 (PACIFICHEM2025) 「Interface effects of self-assembled molecules in organic photovoltaics」	2025/12/14 -12/21 アメリカ	100
山本 昂市 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 博士前期課程2年	42nd European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition 「Fabrication of Inverted Multi-Cationic Perovskite Solar Cells by Electrostatic Spraying」	2025/9/20 -9/28 スペイン	200
鮎澤 颯 名古屋大学 大学院工学研究科 機械システム工学専攻 博士前期課程2年	22nd International Symposium on Electromagnetic Fields in Mechatronics, Electrical and Electronic Engineering (ISEF2025) 「Investigation of Series-Connected Varying-Lead Magnetic Lead Screws Achieving Stepwise Nut Axial Speed Change under Constant Screw Rotation」	2025/9/21 -9/26 スペイン	200

申請者氏名 所属・役職	渡航目的（会議名・論文題名）	渡航時期 渡航先	贈呈額 （千円）
石田 達大 山陽小野田市立山口東京理科大学大学院工学研究科 機械工学専攻 修士課程1年	The 35th International Symposium on Transport Phenomena (ISTP-35) 「Heat Transfer Performance of Pore-Size Gradating Copper Tubes Fabricated by Explosive Welding」	2025/9/21 -9/25 韓国	65
桂 章皓 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 材料制御化学専攻 修士課程2年	The 39th International Korea-Japan Seminar on Ceramics 「Interface Optimization for Low-Contact Resistance and High-Reliability between Bismuth Telluride and Metals in Thermoelectric Generation Devices」	2025/11/19 -11/22 韓国	65
所 京太朗 豊田工業大学大学院 先端工学専攻 修士課程2年	The IEEE/CVF Winter Conference on Applications of Computer Vision 2026 「MMCM: Multimodality-aware Metric using Clustering-based Modes for Probabilistic Human Motion Prediction」	2026/3/6 -3/10 アメリカ	160
守友 遼太郎 宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科 工農総合科学専攻 修士課程1年	SPIE. Photonics West 「Display Area Expansion of Tabletop Volume Holographic AR Combiners Using Shift Multiplexing Exposure」	2026/1/18 -1/22 アメリカ	160
江村 聡馬 東京農工大学大学院 工学府 生命工学専攻 博士前期課程 2年	Biophysical Society Annual Meeting 2026 「Single MicroRNA Identification in Low Concentration Samples with Nanopore Measurement and Transfer Learning」	2026/2/21 -2/25 アメリカ	160
安藤 竜生 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 総合デザイン工学専攻 修士課程2年	The 39th International Conference on Micro Electro Mechanical Systems (IEEE MEMS 2026) 「SENSOR SYSTEM FOR GAS SOURCE LOCALIZATION INTEGRATING A COMPACT 3D WIND VECTOR SENSOR AND GAS SENSOR」	2026/1/25 -1/29 オーストリア	200
川野 聖人 九州大学大学院 システム情報科学府 電気電子工学専攻 博士前期課程2年	Optical Fiber Communications Conference and Exhibition (OFC2026) 「300-GHz Independent Multi-Beam Steering from a Single Antenna Using Fiber Chromatic Dispersion and a Photomixer Array」	2026/3/14 -3/21 アメリカ	160
久保 泰星 名古屋大学大学院 工学研究科応用物理学専攻 博士後期課程1年	APS Global Physics Summit, Joint March Meeting 「Anion Species Dependence of Local Structures Appearing in RuPn Investigated by 3D- Δ PDF Analysis」	2026/3/15 -3/20 アメリカ	160
鳥山 真希 大阪大学大学院基礎工学科 物質創成専攻 博士前期課程1年	10th Conference of the Federation of the European Zeolite Associations 「Template-free synthesis of silica nanoparticle aggregates with controllable mesopore size」	2026/6/27 -7/3 イタリア	200

申請者氏名 所属・役職	渡航目的（会議名・論文題名）	渡航時期 渡航先	贈呈額 （千円）
江場 一真 愛知工業大学大学院 経営情報科学研究科 経営情報科学専攻 修士課程1年	International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT) 2026 「Extraction of Goal-Scoring Segments and Player Positions in a Panoramic Ice Hockey Video」	2026/1/11 -1/15 台湾	65
大河 知恵里 名古屋大学 大学院工学研究科 情報通信工学専攻 博士前期課程2年	RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communication and Signal Processing (NCSP) 「Enhancing Visual Quality and Throughput with Inverse Frames in Display-Camera Visible Light Communications」	2026/2/27 -3/2 アメリカ	100
劉 子楊 上智大学大学院 理工学研究科理工学専攻 博士前期課程2年	International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT) 2026 「Lightweight Dynamic-Aware SLAM via Object Detection and Depth-Guided Feature Filtering」	2026/1/11 -1/15 台湾	65
佐々木 章乃 電気通信大学大学院 情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 博士前期課程1年	XXXVIth Union Radio-Scientifique International General Assembly and Scientific Symposium 「Development of Wearable Antenna Applicable to both Biosensing and Communication」	2026/8/15 -8/22 ポーランド	200

【海外研究者招聘費用助成】

申請者氏名 所属・役職	招聘目的・招聘する研究者	招聘期間	贈呈額 （千円）
道下 幸志 静岡大学工学部 電気電子工学科 教授	第38回雷保護国際会議2026 Carlo Alberto Nucci ボローニャ大学 教授	2026/5/31 -6/5	100

◇ 令和7年度 出版助成一覧 (15件 : 1,433千円)

(敬称略、所属・役職は申込時点)

申請者氏名 所属・役職	論文題名・投稿先	贈呈額 (千円)
佐々木 雄樹 新潟大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野 博士後期課程3年	「An ensemble of deep convolutional neural networks using preoperative computed tomography images for predicting postoperative recurrence of lung adenocarcinoma」 Advanced Biomedical Engineering	120
田中 淑晴 大同大学工学部 機械システム工学科 教授	「Experimental investigation of power transmission efficiency at various shaft angles using a pair of spherical gears」 日本機械学会・Journal of Advanced Mechanical Design, Systems and Manufacturing(Design & Systems)	77
古川 陽輝 名古屋工業大学大学院 工学研究科工学専攻 助教	「Enhancing Mixing Efficiency: A CFD-Driven Design of a Helical Pipe-Type Motionless Mixer with a Kenics-Type Element」 Korean Journal of Chemical Engineering	100
吉島 丈史 埼玉大学大学院理工学研究科 電気電子物理工学PG 博士前期課程2年	「Exploring the synthesis condition of Li-based QS-type hexaferrite」 Journal of the Magnetics Society of Japan	57.2
河村 尚輝 中部大学理工学部 AIロボティクス学科 講師	「An inductance identification method for robust position sensorless control to magnetic saturation of IPMSMs」 IET ELECTRIC POWER APPLICATIONS	120
関川 純哉 静岡大学工学部 電気電子工学科 教授	「Effective Shape of Electrical Contacts to Shorten Duration of Break Arcs Generated Between Contacts with Airflow Ejection Structure」 電子情報通信学会 英文論文誌C	82
西村 高志 鈴鹿工業高等専門学校 電気電子工学科 准教授	「Electrostatic stress-driven pull-up growth of molten titanium via laser irradiation」 Japan Journal of Applied Physics	60
小玉 美悠 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 博士前期課程2年	「Propagation Analysis of Implantable Human Body Communication System for Neurostimulators and Structural Evaluation of Abdominal Models」 AIP Advances	120
長谷川 靖洋 埼玉大学大学院理工学研究科 数理電子情報部門 准教授	「Applicability Limits of Time-Domain Impedance Spectroscopy for Comprehensive Thermoelectric Characterization under Heat Leakage Conditions」 Scientific Reports	100

申請者氏名 所属・役職	論文題名・投稿先	贈呈額 (千円)
山本 真輝 名古屋工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程1年	「A Novel Control Strategy Integrating PWM and $\Delta - \Sigma$ PDM of Matrix Converters for Wireless Power Transfer Systems」 IEEEJ Journal of Industry Applications(JIA)	120
柳田 健之 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学領域 教授	「Power generation characteristics of Cr-doped Al ₂ O ₃ transparent ceramics for nuclear battery application」 Sensors and Materials	117.7
大曾根 佑紀 筑波大学理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 博士前期課程3年	「Imbalance-Aware Scheduling for PV-Battery Storage Systems Using Deep Reinforcement Learning」 IEEE Access	120
阿部 晶 旭川工業高等専門学校 システム制御情報工学科 教授	「Application of Particle Swarm Optimization to High-Speed Positioning Control of a Flexible Manipulator with MFC Actuator」 ICIC International. ICIC Express Letters	72
宮地 佑汰 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子情報工学専攻 博士前期課程1年	「h-BNの配向方向が静電吸着法により作製したtpPI/h-BN複合材料の電氣的・熱的特性に及ぼす影響」 電気学会論文誌A	66
松尾 廣伸 静岡大学工学部 電気電子工学科 准教授	「Bridging Complexity and Accessibility: A Novel Model for PV and BESS Capacity Estimation in Rural Microgrids Near the Equatorial Region」 e-Prime – Advances in Electrical Engineering, Electronics and Energy, Science Direct	101

◇ 令和7年度 開催助成一覧 (11件 : 1,540千円)

(敬称略、所属・役職は申込時点)

申請者氏名 所属・役職	開催題目	開催時期	贈呈額 (千円)
道下 幸志 静岡大学工学部 電気電子工学科 教授	第38回雷保護国際会議2026	2026/5/31-6/5	140
大矢 恭久 静岡大学大学院理学領域 准教授	第22回核融合炉材料国際会議 (ICFRM-22)	2025/9/28-10/3	140
岩崎 誠 名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授	IEEE The 35th International Symposium on Industrial Electronics (ISIE2026)	2026/6/23-6/26	140
青木 徹 静岡大学 電子工学研究所長	11th International Conference on Optical, Optoelectronic and Photonic Materials and Applications (ICOOPMA2026)	2026/9/16-9/21	140
中島 江梨香 中部大学工学部 応用化学科 講師	Polymer Additives, Composites & Manufacturing in Asia 2026 (AsiaPACM 2026)	2026/9/7-9/10	140
堀 史説 大阪公立大学大学院 工学研究科 量子放射線系専攻 教授	第34回放射線利用総合シンポジウム	2026/1/26	140
田口 大 東京科学大学工学院 電気電子系 准教授	14th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME2025)	2025/11/5-11/7	140
曲 勇作 高知工科大学理工学群 講師	薄膜材料デバイス研究会 第22回研究集会「GXを支える薄膜技術」	2025/10/23-10/24	140
北川 亘 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 准教授	2026 Joint University Student Workshop (JSUW 2026)	2026/5/13-5/16	140

申請者氏名 所属・役職	開催題目	開催時期	贈呈額 (千円)
陰山 洋 京都大学 大学院工学研究科 教授	International Symposium on Solid-State Chemistry 2025 (ISSSC2025)	2025/12/1-12/5	140
加藤 剛志 名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授	持続性社会のための材料とシステムに関する 国際会議2025	2025/12/12-12/14	140

◇ 年度別助成実績一覧表

(千円、カッコ内件数)

	研究助成	国際交流援助	出版助成	開催助成	計
平成元年～ 25年度	1,006,950 (760)	145,063 (916)	73,287 (1,031)	75,990 (398)	1,301,290 (3,105)
平成26年度	35,000 (23)	4,821 (40)	1,832 (20)	2,000 (12)	43,653 (95)
平成27年度	35,150 (25)	4,910 (46)	1,851 (22)	2,000 (12)	43,911 (105)
平成28年度	35,000 (25)	5,069 (42)	1,841 (23)	2,000 (11)	43,910 (101)
平成29年度	33,000 (26)	4,085 (34)	1,411 (17)	1,500 (10)	39,996 (87)
平成30年度	52,940 (29)	3,996 (32)	1,359 (16)	1,500 (11)	59,795 (88)
平成31年度	36,000 (27)	4,030 (32)	859 (10)	1,675 (13)	42,564 (82)
令和2年度	37,790 (29)	699 (9)	1,764 (18)	1,600 (8)	41,853 (64)
令和3年度	37,660 (26)	855 (9)	1,620 (16)	1,400 (7)	41,535 (58)
令和4年度	34,890 (26)	2,250 (18)	1,449 (15)	1,400 (7)	39,989 (66)
令和5年度	33,420 (25)	3,950 (32)	806 (9)	1,600 (8)	39,776 (74)
令和6年度	32,610 (22)	4,340 (29)	1,397 (13)	1,650 (11)	39,997 (75)
令和7年度	32,430 (21)	4,464 (32)	1,433 (15)	1,540 (11)	39,867 (79)
計	1,442,840 (1,064)	188,534 (1,271)	90,913 (1,225)	95,860 (519)	1,818,147 (4,079)

*平成30年度の研究助成実績には創立30周年記念特別研究助成(19,940千円、4件)を含む。

◇ 評議員、役員の方々は次のとおりです。(敬称略、五十音順、令和8年8月1日現在)

(評 議 員)

伊藤 久徳	(株)中電シーティーアイ代表取締役社長
小畑 誠	名古屋工業大学長
勝野 哲	中部電力(株)代表取締役会長
倉田千代治	(公財)中部科学技術センター会長
鈴木 達也	名古屋大学大学院工学研究科長
早川 直樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
藤田 祐三	(株)トーエネック代表取締役会長

(役 員)

理 事 長	野田 英智	中部電力(株)専務執行役員技術開発本部長
常 務 理 事	三谷 嘉伸	(公財)中部電気利用基礎研究振興財団
理 事	阿波賀邦夫	豊田工業高等専門学校長
	今西 誠之	三重大学大学院工学研究科長
	植松 美彦	岐阜大学工学部長
	梅村 理史	(一社)中部経済連合会常務理事
	織田 肇	(株)日立製作所中部支社副支社長
	狩野 隆	大同特殊鋼(株)常務執行役員
	香山 瑞恵	信州大学副学長
	滝川 浩史	豊橋技術科学大学副学長
	中野 義昭	豊田工業大学長
	幅上 茂樹	中部大学副学長
	福田 充宏	静岡大学工学部長
	真鍮 康治	三菱電機(株)中部支社支社長
	森脇 英久	(株)東芝中部支社長
監 事	児玉 哲司	名城大学理工学部長
	澤 誠広	中部電力パワーグリッド(株)取締役執行役員
	山縣 正明	名古屋鉄道(株)執行役員鉄道事業本部副本部長

◇本ニュースレターの次回発行は令和9年8月の予定です。